

# 主な理由

## お客様がDell PowerStoreを

## 選ぶ理由

PowerStoreは、将来のどのような状況にも適応できるインテリジェント ストレージです。ニーズに合わせて進化する常に最新のプラットフォームを使用して長期的なIT運用をシンプルにすることで、急速に変化する世界で競合他社の一步先を行くことができます。

### 1 | ソフトウェア主導型の設計

PowerStoreは、現代の多様な分散型ワークロード環境向けに高度なストレージ サービスを提供するために新たに構築された「ソフトウェア ファースト」のストレージ アーキテクチャです。コンテナ化されたマイクロサービス プラットフォームをベースにしているPowerStoreオペレーティング システムはモジュラー型で敏捷性が高いため、システムを中断することなく、かつてないペースで新機能を提供することができます。

### 2 | 適応性の高いアーキテクチャ

PowerStoreは変化に対応するように設計されているため、物理的にも運用的にもお客様のニーズに合わせてながら、時間とともにソリューションで多くの成果を達成することができます。クラスターあたり18 PBe以上まで容量を細かくスケールアップおよびスケールアウトでき<sup>1</sup>、統合ブロック、vVols、エンタープライズ ファイル サービスに加えて、エッジ、コア、Metro、クラウド向けの多様な導入モデルが用意されているため、現在導入しているソリューションで将来のニーズも満たすことができます。PowerStoreは、データの場所や使用方法を問わず、戦略を調整するのに十分なスペースを使う分だけ提供します。

### 3 | 組み込みのインテリジェンス

さらに、PowerStoreは組み込みのAIと機械学習によって変更が容易なので、導入時からいつまでも使い勝手がシンプルです。急な軌道修正を行ったとしても、自己最適化プロセスにより、効率性、パフォーマンス、可用性が自動調整されます。手動での介入は必要ありません。すべてのストレージ サービスが自動的に設定されて維持されます。また、PowerStoreソフトウェアが環境を継続的にモニタリングしてロード バランシングの変更の推奨と自動化を行うことで、管理負担が最大で99%削減するため、スケールアウト クラスター全体のパフォーマンスと使用率が向上します<sup>2</sup>。

### 4 | 予測分析

意思決定が必要なときは、PowerStoreがサーバー、ストレージ、ネットワーク、クラウドなど、複数のインフラストラクチャ カテゴリにわたるインテリジェントな分析と関連するインサイトを提供して、すばやく決断を下せるように支援します。PowerStoreのAIOpsアプリケーションであるCloudIQは、問題解決に要する時間を最大で3分の1にまで短縮でき<sup>3</sup>、リスクの軽減やスタッフの生産性向上を実現し、将来のニーズの予測を行います。

## 5 | プログラマブル インフラストラクチャ

主要なDevOps、コンテナ化、オープン管理フレームワークとの密接な統合により、エコシステム全体がシンプルになり、効率化されます。管理者は、VMware、Kubernetes、Ansibleなどのフレームワーク内でPowerStore機能を自動化することで、新しいサービスを数日ではなく数秒で導入できます<sup>4</sup>。統合には、新しいコンテナ ストレージ モジュール(CSM)、Ansibleプレイブック、vSphereからのPowerStoreプロビジョニング、PowerStore Managerからのエンドツーエンドの可視性が含まれます。

## 6 | AppsON

PowerStoreは、ESXiハイパーバイザーを組み込んだ業界唯一の専用ストレージ アプライアンスです<sup>5</sup>。これにより、アプライアンス上でワークロードを直接実行すると同時に、外部ホスト上のワークロードに対して拡張性のある容量とサービスを提供できます。AppsONはストレージ集約型エッジやリモート導入に最適で、統合、優れたアプリケーションのアジリティ、PowerStoreおよびVMwareホスト（DellのVxRail製品などのHCIデバイスを含む）に共通のコントロール プレーンを提供します。

## 7 | 高度なデータ保護とセキュリティ

PowerStoreは、ビジネス クリティカルなアプリケーションとデータを環境の破壊や損失からも悪意のある脅威からも保護します。高い可用性は、アクティブ/アクティブ設計、ソフトウェアベースの動的レジリエンシー エンジンや、ブロック、ファイル、vVolsのネイティブの非同期レプリケーション、HAフェールオーバーを使用したネイティブのアクティブ/アクティブMetro同期レプリケーションから生まれています。ロールベースのアクセス制御から、FIPS 140-2準拠の静止データ暗号化、HWRoT（セキュア ブート）、ファイルレベル保存期間設定 (FLR)、サード パーティ製モニタリング アプリケーションのサポートまで、総合的な開発NISTフレームワーク アプローチによってPowerStoreにはサイバーセキュリティが組み込まれます。

## 8 | コスト パフォーマンスの高いマルチクラウド

PowerStoreは、運用の整合性を維持しながら、オンプレミス インフラストラクチャをハイブリッド クラウド ソリューションに変える場合に役立ちます。導入オプションには、AppsONベースのアプリケーションとVMware Cloud on AWS、Azure、Googleへのデータ モビリティ、フルマネージド PowerStore環境と柔軟なマルチクラウド アクセスを組み合わせたクラウド データ サービス、最大65:1のデータ削減とともに安全な暗号化クラウド バックアップを可能にするDell Cloud Tierなどがあります<sup>6</sup>。近いうちに、今後のリリースでPowerStoreサービスをクラウドで直接実行できるようになるため、シームレスなハイブリッド導入とクラウドのみの導入が可能になる予定です。

## 9 | 止まることのないNVMeのイノベーション

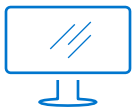
PowerStoreは、ストレージ、インターフェイス、ネットワーク テクノロジーの最新の開発を最大限に活用するように設計されており、新しいテクノロジーが利用可能になるとそのテクノロジーが組み込まれます。現在では、エンドツーエンドのNVMeを使用することでパフォーマンスのレイテンシーが削減されるメリットを、アプライアンス全体およびFCネットワークとIPネットワーク（vVols-over-NVMeを含む）全体にまで広がります。エンドツーエンドのNVMe/TCP導入を自動化する業界初のソフトウェア ツールであるDell SmartFabricを使用すると、コスト パフォーマンスの高い新しい100Gb NVMe/TCP PowerStoreソリューションを簡単に利用できます。

## 10 | Anytime Upgradeのメリット

Dellの総合的なFuture-Proof Programの一要素であるAnytime Upgradeを使用すると、ソフトウェアのようにPowerStoreハードウェアを更新できます。Anytime Upgradeは、適応性の高いPowerStoreのアーキテクチャを最もスマートに利用する手段です。プラットフォームの標準的なオールインワン ソフトウェアのサブスクリプションとあわせて、システムを中断させずに次世代以降のモデル ノードへのデータ イン プレース コントローラー切り替えを行います。このアップグレードは、すべての導入サービス込みで登録されているお客様には追加コストなしで提供されます。PowerStoreではオンプレミス ストレージでクラウドのような体験が実現できるため、Anytime Upgradeによって、ワークロードが常に最新かつ最善のテクノロジーで実行されているという確信が得られます。

注：

1. 平均4:1のデータ削減を想定しています。実際の結果は異なる場合があります。
2. バランスのとれたPowerStoreクラスターと従来のマルチレイ導入環境をそれぞれ維持するために必要なスタッフの作業時間を比較したDellの分析に基づきます（2022年3月）。実際の結果は異なる場合があります。
3. 2020年3月に実施したTrusted Advisors（デル・テクノロジーズのアカウントチームおよびパートナー）を対象としたDell社内調査（CloudIQを使用した場合と使用しない場合の問題解決を比較）に基づきます。実際の結果は異なる場合があります。
4. AnsibleおよびvROオーケストレーションの統合を使用した場合と使用しない場合のワークロードの導入に必要な作業に関するDellの分析に基づきます（2022年3月）。実際の結果は異なる場合があります。
5. メインストリームストレージベンダーの最新ソリューションに関する一般公開情報をもとにしたDellの分析に基づきます（2022年4月）。
6. 最大50倍の重複排除（DD3300）と通常65倍の重複排除（DD6400、6900、9400、9900）をもとにした論理容量（論理容量がTBあたり通常30%多いハードウェアアシストデータ圧縮を追加した場合）。
7. SmartFabricストレージソフトウェアを使用したPowerMax/PowerStoreでのNVMe/TCP検出と登録を混合ストレージソリューションと比較したDellの分析（2022年3月）に基づきます。



Dell PowerStoreソリューションの詳細情報



デル・テクノロジーズの  
エキスパートへのお問い合わせ



他の関連資料を見る



#PowerStoreで会話に参加